

# 斜里前浜で発見されたイヌワシ死体について

増田 泰

〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49番地  
斜里町立知床博物館

## 1. はじめに

イヌワシ *Aquila chrysaetos* はユーラシア大陸に広く分布し、国内には亜種ニホンイヌワシ *A. c. japonika* が山岳地域を中心に生息する（環境庁, 1991）。森林開発などによる生息環境の悪化、密猟、環境汚染物質の影響などによって数を減らし、現在国内の生息数は160つがい余りとされ（Yamazaki, 2000）、天然記念物、国内希少野生動物種（絶滅危惧種）に指定されている。

北海道におけるイヌワシに関する情報は極めて乏しく、その分布域をはじめ、生息状況の詳細については明らかになってはいない。知床半島周辺でも以前から生息の可能性が指摘されているが、いまだ確認はされていない。しかし今回斜里町内前浜町の海岸で、知床では初記録となるイヌワシの死体が回収されたので報告する。

## 2. 発見状況

2000年6月4日斜里町前浜町で、海岸の一斉清掃参加者が砂浜で一部埋まった状態の鳥類の白骨化死体を発見した。発見者はオジロワシの死体と考え、博物館に持ち込んだ。

死体は波打ち際から15mほど離れた砂浜で半分砂に埋もれた状態で発見された。ほぼ白骨化しており、内蔵は残っておらず、筋肉も大腿部などに

わずかに残る程度であった。しかし骨格はほぼ揃っており、指骨の脱落なども見られなかった。羽毛は尾羽、下尾筒、ふ蹠羽の大部分、雨覆の一部、次列風切の一部が残存していた。

## 3. 外部計測値

各部の計測値は表1のとおりである。

## 4. 所見

### (1) 羽毛

#### ・尾羽

尾羽は10枚残っており、右側R1とR6の2枚が脱落していた。尾羽の先端部1/4～1/5は黒褐色で先端部にわずかにバフ白色の縁があった。基部3/4～4/5は白色であった。中央より両端で、また内弁より外弁で黒褐色部分の割合が多く、外弁には黒褐色部と白色部との境界に茶色の斑が見られた。

#### ・次列・三列風切

大部分が脱落していたが、左翼に数本残っていた。黒褐色から黒色で、基部に白色部分が見られた。白色部分は外弁より内弁に多かった。

#### ・下尾筒

白色、先端部にわずかに黒褐色。

表1. 各部の計測値

計測部	計測値 (mm)
全長	845
ふ蹠長	100
尾長	382
全嘴峰(頭骨)	52
上腕骨長	189
前腕長	221
大腿骨長	124
下腿長	169

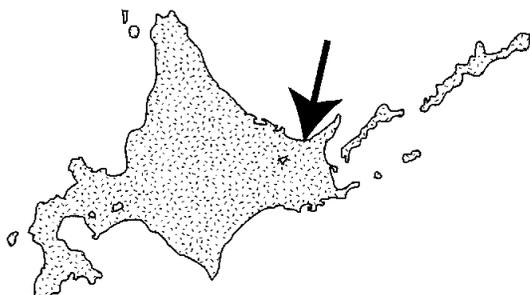


図1. 発見場所

・雨覆

先端黒色～黒褐色、基部白色。

・ふ蹠羽

白色～クリーム色。

(2) 頭部・頸部

完全に白骨化しており、角質部は脱落していた。  
また強膜骨環、舌骨は脱落していた。

(3) 体幹・翼

白骨化しており、内臓はすべて喪失していた。  
また肋骨の一部が脱落していた。

(4) 脚・趾部

大腿部にわずかに筋肉が残っていたが、ほぼ白骨化していた。趾部の皮膚角質は残存しており黄色、爪は黒色であった。

5. 考察

今回収容した個体は、各計測値の比較(清棲幸保, 1978; 森岡照明ほか, 1995)と羽毛のパターン、特に尾羽根の先1/5が黒褐色、基部は白色であること、蹠がクリーム色の羽毛に覆われ、趾が黄色であることなどからイヌワシの幼鳥(第1回冬羽)であると判断した。

知床半島ではイヌワシの生息の可能性が以前から今回の個体は海岸で発見されたため、漂流漂着し

た可能性が高く、知床での生息を直接的に裏付ける証拠とはならない。しかし死体は白骨化が進んでいたものの、骨格は揃っており、長期間漂流して漂着したとは考えにくい。しかも今回の個体が幼鳥であったことから、知床半島周辺におけるイヌワシの生息、繁殖の可能性がさらに増したと言える。今後以前から生息の可能性が指摘されている斜里岳周辺などでの現地調査を進める必要がある。

引用文献

Yamazaki.T. 2000: Ecological research and its relationship to the conservation programme of the Golden Eagle and the Japanese Mountain Hawk-Eagle. ARRC:Proceedings of the First Symposium on Raptors of South-East Asia 1988, 195-209.

環境庁自然保護局野生生物課編. 1991: 日本の絶滅のおそれのある野生動物・レッドデータブック(脊椎動物編). 日本野生生物研究センター. 東京.

清棲幸保. 1978: 日本鳥類大図鑑2. 講談社. 東京.  
森岡照明・叶内拓哉・川田隆・山形則男. 1995: 日本のワシタカ類. 文一総合出版. 東京.



写真1. 背面から



写真2. 頭部から胸部

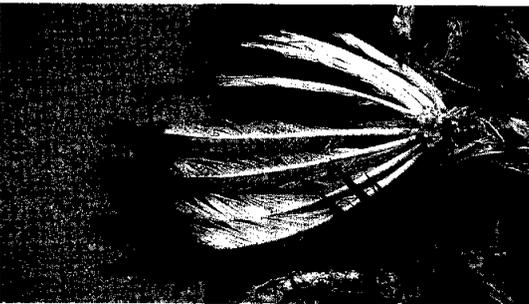


写真3. 尾羽



写真4. ふ蹠・趾部